

しどもほつしんえ次第

し だい

礼 仏

(合掌して同音より三回唱えます)

一心頂礼 (同音) 十方法界 常住三宝

懺悔文

(同音より唱えます)

我昔より造れる所の諸々の悪業は (同音) 皆無始の貪瞋痴に由る
身語意より生ずる所なり 一切我今皆懺悔したてまつる

私が昔から造ってきた多くの悪い行いは、みんな生まれてから今日までの欲張りど、すぐに腹を立てることと、身勝手な心から生まれています。身体と言葉と心から生まれ出たそれらのすべてを、私は今みな心から反省いたします。

三帰依文

(同音より唱えます)

人身受け難し今既に受く (同音) 仏法聞き難し今既に聞く

此の身今生に於いて度せずんば 更に何の生に於いてか

此の身を度せん 大衆諸共に至心に三宝に帰依したてまつる

人間としてこの世に生まれることはとても難しいことです。私たちは幸いにも人間として生まれることが出来ました。私たちはこうして今、仏さまの教えを聞いています。今、私たちは仏さまの教えにしたがって、みんなのために行動する努力をしなければなりません。もしその努力をしなければ、この先もずっとこの素晴らしい教えを伝えることが出来ないからです。ですから、みんなと一緒に心の底から仏さまに誓いましょう。

三帰三竟

(同音より唱えます)

願わくは今身より未来際を尽くすまで (同音) 仏両足尊に帰依したてまつり 法離欲尊に帰依したてまつり 僧衆中尊に帰依したてまつらん 仏に帰依し竟り 法に帰依し竟り 僧に帰依し竟んぬ

願わくは、今日からいつまでも仏さまを敬い、仏さまの教えを敬い、仏さまを信じる人を敬います。そして次の三つを誓います。

- 一つ 「あらゆる命を大切にしよう」
- 一つ 「みんなのために行動しよう」
- 一つ 「自然の恵みに感謝しよう」

七仏通戒偈 (しちぶつ とうかい げ) (しよぶつ か おし) 伝教大師最澄さまのお言葉 (でんぎょうだいしさいちよう ことば)

(各句復唱します)

「諸々の悪は作すこと莫く 道心ある人となります」

「諸々の善は奉行し 能く行い能く言う人となります」

「自ら其の意を清くして 一隅を照らす人となります」

わるい行いはせず、道心ある人となります。
よいことをして、よく行いよく言う人となります。
心を正しくして、一隅を照らす人となります。

念珠授与 (ねんじゆじゆよ)

四摂法 (ししやうぼう) (よつ じっせん) (四つの実践)

布施 (ふせ) (しょうわ) 欲張らず相手に与えます

愛語 (あいご) (しょうわ) 優しい言葉で話しかけます

利行 (りぎやう) (しょうわ) 相手のために行動します

同事 (どうじ) (しょうわ) 思いやりの心で一緒に行います

法ほう 楽らく

○開経偈かいきょうげ (同音より唱えます)どうおん とな

無常甚深微妙の法むじょうじんじんみみょう ほうは (同音) 百千万劫にも遭い遇うこと難しひやくせんまんげう ああ なた 我今見聞われいまけんもん
し受持じゆじすることを得たりえ 願わくは如来ねが にょらいの眞実義しんじつぎを解げしたてまつらん

○般若心経はんによしんぎょう

○回向文えこうもん (同音より唱えます)どうおん とな

願わくは此こゝの功德くどくを以てもつ (同音) 普あまねく一切いっさいに及およぼし
我等われらと衆生しゆじようと皆共みなともに 仏道ぶつどうを成じやうぜんことを

宗歌斉唱しゆうかせいししよう (随意)ずいゐ

あきらけく 後の仏のち ほとけのみよまでも 光ひかりつたへよ 法のりのともし火び

礼らい 仏ぶつ (合掌がつしやうして同音より三回唱えます)どうおん さんかいとこな

一心頂礼いつしんちやうらい (同音) 十方じつぱう法界ほうかい 常住じやうじゆう三宝さんぼう

修了証授与しゆうりやうししようじゆよ (こどもほっしんえカード)